



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月31日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長C00 (氏名) 成川 敦  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	65,571	5.5	△3,146	—	△2,762	—	△3,298	—
2021年3月期第3四半期	62,169	△26.3	111	△95.9	412	△85.5	△1,202	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 △1,324百万円 (-%) 2021年3月期第3四半期 △2,032百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△148.26	—
2021年3月期第3四半期	△52.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	81,150	54,222	60.1	2,190.68
2021年3月期	77,233	55,993	65.6	2,276.20

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 48,748百万円 2021年3月期 50,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2022年3月期	—	10.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	0.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	8.0	△7,000	—	△7,000	—	△6,000	—	△269.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	25,000,000株	2021年3月期	25,000,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,747,493株	2021年3月期	2,752,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	22,250,412株	2021年3月期3Q	22,694,152株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）における世界経済は、ワクチン接種の進展や各国政府の施策等により先進国を中心に経済・社会活動の正常化が進みました。一方で、変異を続ける新型コロナウイルスの脅威は未だ衰えを見せず、また地政学リスクも高まり、予断を許さない状況が続きました。

電子部品業界において、特に当社グループが注力する自動車関連市場では、半導体不足に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるサプライチェーンの混乱により自動車メーカ及び部品メーカ等は生産計画の見直しを迫られました。

一方で、脱炭素への取り組みが世界的に本格化し、電気自動車の開発加速に伴う電子部品の中長期需要に対する期待は高まりました。

当社グループの今期業績は、売上高は自動車販売の回復に伴う車載スピーカ売上増により前回修正時より増加が見込まれます。一方、利益面では、国際物流運賃や原材料・部材費の高騰、変異を続ける新型コロナウイルス感染拡大によるサプライチェーン混乱の影響等により厳しい状況が続いています。

こうした中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は自動車販売の回復に伴う車載スピーカ売上増により前年同期比で増加しましたが、利益面では、海上コンテナ運賃や原材料・部材費の高騰、変異を続ける新型コロナウイルス感染拡大に伴うサプライチェーン混乱等の影響、なかでも空輸利用の増加が利益圧迫要因となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、65,571百万円（前年同期比5.5%増）、営業損失は3,146百万円（前年同期は営業利益111百万円）、経常損失は2,762百万円（前年同期は経常利益412百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,298百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,202百万円）となりました。

利益圧迫要因のうち空輸利用は1月中には終了の見込みです。また、輸送コスト・資材費の高騰に対しては、市況に応じた価格スライド制の導入等について、既に多くのお客様から、ご理解を頂いており、引き続き収益改善に努めます。

受注面においては、車載関連ビジネスの受注は中期事業計画達成に向け着実に進展しています。ターゲット顧客へのパートナー戦略についても技術的提案力を強化し付加価値のある製品・ソリューションによる収益力の向上を図ります。車載関連ビジネス以外においては、ウェアラブル、ウェルネス等の分野で、先行きの変化を機敏にとらえた開発・生産・販売体制を構築し新規ビジネスの事業化をさらに進めております。

当社グループは、中期事業計画目標の達成をより確実なものとするため、対処すべき課題に対して、構造改革を含め対応策の実効性・即効性を高めると同時に、高まる不確実性に対しての即応体制をさらに強化していきます。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### [スピーカ事業]

コロナ禍からの自動車販売の回復を背景に、売上高は48,997百万円（前年同期比23.4%増）となりました。損益面では、コンテナ船運賃や原材料費・部材費の高騰、海上物流の混乱長期化に伴う空輸の増加、生産拠点でのコロナ影響による稼働率の低下等から、営業損失は2,638百万円（前年同期は営業利益138百万円）となりました。

#### [モバイルオーディオ事業]

民生用アクチュエータの出荷は計画を上回って好調に推移しましたが、スマートフォン同梱用ヘッドセットの販売が終息に向かっていることから、売上高は11,181百万円（前年同期比36.1%減）、営業損失は670百万円（前年同期は営業損失41百万円）となりました。

#### [その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他事業は、自動車販売の回復を受け小型音響部品事業が堅調に推移したため、売上高は5,941百万円（前年同期比14.6%増）。営業利益は163百万円（前年同期は営業利益14百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に棚卸資産の増加により前連結会計年度末に比べ3,917百万円増加して81,150百万円となりました。負債は、主に短期借入金の増加により前連結会計年度末に比べ5,688百万円増加して26,928百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ1,770百万円減少して54,222百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比5.5ポイント減の60.1%となりました。

#### (キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより14,650百万円と

なり、前連結会計年度末に比べ5,723百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、棚卸資産の増加等により9,500百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により2,370百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、短期借入金の増加により5,915百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向に鑑み、2021年10月28日に公表しました通期業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途開示しています「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,470	13,863
受取手形及び売掛金	16,768	15,632
電子記録債権	177	388
有価証券	5,622	1,859
製品	11,517	16,194
原材料	5,656	9,014
仕掛品	1,159	1,614
貯蔵品	147	105
未収入金	831	750
前渡金	85	1,470
その他	1,635	1,895
貸倒引当金	△32	△49
流動資産合計	59,040	62,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,758	6,698
機械装置及び運搬具(純額)	4,594	4,554
工具、器具及び備品(純額)	1,533	1,807
土地	1,442	1,461
建設仮勘定	883	832
有形固定資産合計	15,213	15,354
無形固定資産		
ソフトウェア	69	86
その他	119	119
無形固定資産合計	189	205
投資その他の資産		
投資有価証券	1,482	1,534
長期前払費用	83	61
退職給付に係る資産	791	815
繰延税金資産	199	239
その他	234	199
投資その他の資産合計	2,790	2,851
固定資産合計	18,193	18,411
資産合計	77,233	81,150

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,735	7,705
短期借入金	2,556	9,613
1年内返済予定の長期借入金	1,528	912
未払金	2,768	3,173
未払法人税等	301	473
未払費用	1,719	1,853
賞与引当金	362	462
その他	766	904
流動負債合計	18,738	25,098
固定負債		
長期借入金	1,118	450
繰延税金負債	588	562
退職給付に係る負債	74	70
役員退職慰労引当金	16	19
株式給付引当金	146	155
資産除去債務	254	258
その他	301	312
固定負債合計	2,501	1,829
負債合計	21,239	26,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	6,896	6,896
利益剰余金	41,299	37,625
自己株式	△4,129	△4,115
株主資本合計	50,837	47,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298	324
為替換算調整勘定	△82	1,540
退職給付に係る調整累計額	△414	△294
その他の包括利益累計額合計	△198	1,570
非支配株主持分	5,354	5,474
純資産合計	55,993	54,222
負債純資産合計	77,233	81,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	62,169	65,571
売上原価	54,181	58,764
売上総利益	7,988	6,807
販売費及び一般管理費	7,876	9,953
営業利益又は営業損失(△)	111	△3,146
営業外収益		
受取利息	103	64
受取配当金	19	24
補助金収入	117	121
為替差益	170	206
雑収入	196	232
営業外収益合計	607	649
営業外費用		
支払利息	53	60
雑損失	252	204
営業外費用合計	306	265
経常利益又は経常損失(△)	412	△2,762
特別損失		
減損損失	891	—
特別退職金	154	487
特別損失合計	1,046	487
税金等調整前四半期純損失(△)	△633	△3,250
法人税、住民税及び事業税	341	142
法人税等調整額	△55	△45
法人税等合計	286	96
四半期純損失(△)	△920	△3,346
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	281	△48
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,202	△3,298



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△920	△3,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91	26
為替換算調整勘定	△1,143	1,872
退職給付に係る調整額	△60	123
その他の包括利益合計	△1,112	2,022
四半期包括利益	△2,032	△1,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,125	△1,529
非支配株主に係る四半期包括利益	92	205

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△633	△3,250
減価償却費	2,357	2,370
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	71	△22
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	△3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	17
賞与引当金の増減額(△は減少)	△84	100
補助金収入	△117	△121
減損損失	891	—
特別退職金	154	487
受取利息及び受取配当金	△123	△88
支払利息	53	60
為替差損益(△は益)	11	217
売上債権の増減額(△は増加)	△1,580	938
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,249	△8,519
仕入債務の増減額(△は減少)	1,072	△1,046
未収入金の増減額(△は増加)	278	83
未払金の増減額(△は減少)	△215	408
前渡金の増減額(△は増加)	△98	△1,399
その他	△273	680
小計	3,018	△9,083
利息及び配当金の受取額	123	88
利息の支払額	△53	△60
補助金の受取額	117	121
特別退職金の支払額	△101	△385
法人税等の支払額	△825	△284
法人税等の還付額	—	103
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,277	△9,500
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△760	△984
有価証券の償還による収入	634	629
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,559	△1,921
無形固定資産の取得による支出	△33	△84
長期前払費用の取得による支出	△35	△20
その他	13	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,741	△2,370
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	158	7,098
長期借入金の返済による支出	△1,507	△731
配当金の支払額	△570	△335
非支配株主への配当金の支払額	△159	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,079	5,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	△491	231
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,034	△5,723
現金及び現金同等物の期首残高	23,930	20,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,895	14,650

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

なお、当該会計基準の適用が当四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44号-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準の適用が当四半期連結財務諸表に及ぼす影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカー事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	39,694	17,502	4,972	62,169	—	62,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	213	213	△213	—
計	39,694	17,502	5,186	62,382	△213	62,169
セグメント利益又は損失 (△)	138	△41	14	111	△0	111

(注) 1 セグメントの調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スピーカー事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を682百万円計上しております。

「その他事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を209百万円計上しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカー事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	48,997	11,181	5,392	65,571	—	65,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	548	548	△548	—
計	48,997	11,181	5,941	66,120	△548	65,571
セグメント利益又は損失 (△)	△2,638	△670	163	△3,146	△0	△3,146

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。